

## 1 ICT 活用工事

以下に示す全ての施工プロセスにおいて、ICTを活用する工事（次の(1)～(5)を全て実施する工事）をいう。ICTとは情報通信技術（information and communication technologyの略称）のこと。

- (1) 3次元起工測量
- (2) 3次元設計データ作成
- (3) ICT建設機械による施工
- (4) 3次元出来形管理等の施工管理
- (5) 3次元データの納品

## 2 登録基幹技能者

熟達した作業能力、豊富な知識や経験、優れたマネジメント能力を備え、専門工事業団体の資格認定を受けた技能者のうち、国土交通大臣が登録した機関が実施する登録基幹技能者講習を修了した者。

[登録基幹技能者講習を受講要件]

- ① 実務経験10年以上
- ② 職長経験3年以上
- ③ 最上級の技能者資格（1級技能士等）の保有

[登録基幹技能者の役割]

- ① 現場の状況に応じた施工方法等の提案、調整等
- ② 現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法、作業手順等の構成
- ③ 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示、指導
- ④ 前工程・後工程に配慮した他の職長との連絡・調整

## 3 えるぼし認定

厚生労働省の認定制度であり、女性の活躍推進の状況（管理職比率や採用時の競争倍率）などが優良な企業を認定しているもの。

認定マーク（愛称「えるぼし」）を商品や広告、求人票などに使用することができ、女性の活躍を推進している事業主であることをアピールすることができる。

（名前の由来）

様々な企業や社会の中で活躍し、星のように輝く女性への「エール」と、そんな輝く女性が増えていくようにとの願いを込めて「えるぼし」としたもの。

「L」には、Lady（女性）、Labour（働く、取り組む）、Lead（手本）などさまざまな意味があり、「円」は企業や社会、「L」はエレガントに力強く活躍する女性をイメージしている。



【えるぼしマーク】

#### 4 くるみん・プラチナくるみん認定

厚生労働省の認定制度であり、子育て支援に関する取組等を実施している企業を認定しているもの。

認定は「くるみん認定」と「プラチナくるみん認定」の2段階あり、認定を受けた事業主は認定マーク（愛称「くるみん」「プラチナくるみん」）を商品や広告、求人票などに使用することができ、子育てサポート企業であることをアピールすることができる。

（名前の由来）

赤ちゃんが大事に包まれる「おくるみ」と、「職場ぐるみ・会社ぐるみ」で子供の育成に取り組もう、という意味を込めました。（池田寛子さん）

マークのイメージとして、子どもが優しく“くるまれている”というあたたかい印象が強いこと。企業（会社）“ぐるみ”で、仕事と子育ての両立支援に取り組むこと。これらの考えから、“くるむ”⇒“くるみ”⇒“くるみん”となりました（田中享さん）



【くるみんマーク】



【プラチナくるみんマーク】

#### 6 いわて女性活躍認定企業等

岩手県の認定制度であり、女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む企業等を認定している。

#### 7 いわて子育てにやさしい企業等

岩手県の認証制度であり、仕事と子育ての両立支援など男女が共に働きやすい職場環境づくりに取り組む企業等を認証している。

#### 8 専任補助者制度

現場経験の少ない技術者の技術力向上を図るため、主任技術者又は監理技術者として若手又は女性を登用する場合に、主任技術者又は監理技術者を専任で補助する技術者（以下「専任補助者」という。）の配置を認めるもの。

専任補助者を配置した場合に、以下のとおり取り扱うものとする。

- ・ 専任補助者は、入札公告において定める主任技術者又は監理技術者と同等の資格及び施工経験等の要件を有する者であること。
- ・ 総合評価落札方式における評価項目のうち、配置予定技術者の要件に係る評価を主任技術者又は監理技術者の評価に代えて専任補助者の能力等で評価する。

#### 9 継続教育（CPD）

建設業におけるCPD（Continuing Professional Development の略）は、技術者の継続教育を意味する。建設関係の資格認定団体が実施しており、資格取得後の継続的な教育プログラムや講習会等を提供している。技術者が研鑽に要した時間を単位に変換している。